

公述の内容

公述人 1	
公述の内容	<p>○北部環状道路に投入する1千億以上のこの金を、これを一時凍結するか、あるいは中止して、この金をこの国難の費用に使うべき。</p> <p>○トンネルを掘れば地下水脈が変化し、自家用の井戸や棚田の水が枯れて、生態系が崩れる。湯村の温泉が枯渇するおそれがあることへの対策が示されていない。</p> <p>○交通量は1日あたり2万3千台から2万9千台といわれているが、山梨県の少子化あるいは車が減ることを考えればありえない。</p> <p>○工事費用の400億円はどこから生み出されるのか。</p>

## 公述の内容

公述人 2	
公述の内容	<p>○トンネル掘削によって地下水脈が破断され、生活用水、生態系への影響が懸念される。</p> <p>○トンネル掘削によって大量の廃土が生まれる。この廃土をどのように処理するのか明らかにすべき。</p> <p>○トンネル坑口からは常に排気ガスが放出され、三方が山に囲まれている相川地区では、東西2つの坑口から出続ける排気ガスが、外気に滞留して、住民の健康被害を惹起させる可能性がある。</p> <p>○トンネル掘削により予算が膨らんで2倍、3倍になる可能性が高い。国も地方自治体も財政は火の車の状態で、この道路は必要か。</p> <p>○この道路の費用対効果は3.1とされているが、根拠となる数字は明らかにされていない。国交省は費用対効果の全面的な見直しをしていると聞いているが、そのような流動的状況の中で、このような多額の予算を投じて、この道路を造ろうというのは、あまりにも拙速である。山の手通りや、20号線の交通量は減少しつつあり、もっと将来的な見通しでいえば、国全体の人口が減っていくことがほぼ証明されている。</p> <p>○沿線住民の中に、このルートに納得しておらず、不満を持っている方が少なからずいる。立ち退きを強制されて体調を崩し、通院されている方もいると聞いている。国交省は当初から、この道路計画はP1方式によって行い、住民参加を求めると言ってきたにもかかわらず、ルート計画に納得できない方々を放置したままで、計画を進めることは自ら提案したP1方式を放棄することになるのではないか。仮にこのまま計画を進めるのであれば、住民との対立は深まり、計画や工事の進捗にも悪い影響を与える。</p> <p>○もし国交省が1,150億円というお金があるのであれば、このような無駄な道路を造るのではなくて、現在、大惨事に見舞われている、東北地方の方々の援助にまわすべき。</p>

## 公述の内容

### 公述人 3

公述の内容	<p>○道路建設の目的がこれまで、二転三転ところどころと変わっており、県民に本当に必要な道路なのだろうか。山梨県では、1兆円にも達する山梨県の赤字を抱えている。こういう道路に使うお金があるのなら、真っ先に被災された方の生活再建、道路整備、そちらのほうにお金を回すべきではないか。</p> <p>○敷島、双葉、韭崎地区については、取り付け道路やインターチェンジの構造が詳細に示されているが、塚原や横根地区についての詳細な図面はまったくない。このような不完全な素案資料を提出されて、北部区間の道路が本当に必要なのかどうかを読み取ることとはできない。</p> <p>○道路建設予定の地域に対する説明がまったくもって不十分である。地域での説明会がP1方式（住民参画）を採用して、道路建設を進めるための既成事実を作るために、そういう説明会をやっているのではないか。事務的に説明会を開いているだけというようにしか感じられない。これまで開催された説明会で提案された意見書について、公表されていない。</p> <p>○最近供用された愛宕町下条線によって、山の手道路の交通渋滞はほぼ解消されたといっても良い。生活道路の改修整備によって、目に見える改善が見込まれるという、すばらしい良い例であって、高規格道路、いわゆるこの北部環状道路を建設する予算を、生活道路に振り向けるべきであり、そのために都市計画素案を示すべきであるというように考える。</p> <p>○北部区間に予定されている高規格道路の費用対効果の根拠も示されず、愛宕町下条線の開通がどれほどの効果をもたらしているのかという調査結果もないままに、道路建設だけを目的とした都市計画素案は、吟味するに値しない素案である。</p>
-------	--

公述の内容

公述人 4	
公述の内容	○今年家を造り、住もうと思ったところに、畑の真ん中をちょうど道が通ると言われて、聞いてびっくりして、私の夢はどんどん壊される。もう道路は必要ない。強く反対するのでお願いします。

公述の内容

公述人 5	
公述の内容	<p>○健康の森について、県民の憩いの場であり、さまざまなスポーツ、最近では武田の杜トレイルランニングや、トレッキングなどにも盛んに利用されている。地下約300メートルくらいに2本の高速道路のトンネルを造っても大丈夫なのか。この地域一体は、甲府市が出しているハザードマップによると、危険地域に指定されている。また、県の教育委員会作成の希少動植物マップを見ると、たくさんの希少動植物が生育している地域でもある。</p> <p>○トンネルを掘って出た残土はどこに捨てられるのか。</p> <p>○長期間にわたって、工事車両が狭い町の中を走る。環境汚染、破壊のほかに事故も心配である。</p> <p>○お金がない、国、県、市にとって、この道路計画は不要不急である。ゼネコンだけが儲ける高速道路建設よりも、もっと身近な、町の中の道路を地元の工事会社を使って、整備してはどうか。この道路のメンテナンスにかかる費用は、県など地方自治体が負担するとのこと、これも心配。</p> <p>○何よりもこの計画について、地域住民に対し、計画のもっと細かい説明が必要。</p>

公述の内容

公述人 6	
公述の内容	<p>○この道路計画について、時代にマッチしておらず、県民の要求を反映していない。</p> <p>○交通渋滞はかなり取締りを厳しくしたりして、交通事故としては確かに一時期は減ったが、道路を造って車が走る。道路に併せてまた渋滞が起きる。また道路を造る。こんなことをして、本当に住みやすい、暮らしやすい、皆さんのための町ができるか、そういうことを考えてもらいたい。</p> <p>○この計画も10数年以上前からできているという話ですけれども、高度成長や人口激増時代の、自動車産業、道路建設を伸ばすときにつくられた計画を考え直すべき。</p>

## 公述の内容

公述人 8	
公述の内容	<p>国も県も財政危機にある中、巨額な費用を要する不要不急な北部区間の建設は、中止すべき。</p> <p>税金の使い方を、福祉と暮らし最優先に、公共事業は地域の中小業者の仕事を増やす、生活密着型に改めることが必要。</p> <p>山の手通りの渋滞は、愛宕下条線が供用されたことで渋滞が激減している。高規格道路の建設よりも、生活道路の整備こそが必要。</p> <p>完成後の2030年1月1日の交通量を2万1千から2万8千と予測しているが納得できない。建設を根拠付けるための過大な数字。</p> <p>東海地震に備えて、建物の耐震化、崩落防止対策など、災害に強い県土づくりこそ、今取り組むべきである。</p>

公述の内容

公述人10

公述の内容

- 県内も高齢化が進み、車の交通量も少なくなってくるのに、こんな自然豊かな場所に高速道路は要らない。
- 計画は千代田霊園のすぐ北側あたりに、トンネルを掘削すると聞いている。すぐ南側には私の家もあり、山宮ハイタウン、富士見台団地、山宮団地など、住宅が密集している。
- この地域は特に高齢化が進んでいて、日中でも高齢者が家で生活しており、工事による長期間の振動が心配される。
- そして自然環境の悪化、地下水脈の変化などについて、いまだに何も詳しい説明がされていない。湯村温泉郷の枯渇もとても心配。

公述の内容

公述人 1 1	
公述の内容	<p>○建設経費と維持費を生活道路とか、国民生活の思いに向けていただきたい。</p> <p>○私は山宮町のハイタウンに住んでいるが、そこにトンネルを掘るということを住民は認めるわけにはいかない。</p> <p>○住民、あるいは国民の意向を十分反映し、真摯に住民の意見を尊重した立場でものを考えるべき。</p> <p>○交通マナーを改善すれば、渋滞は全然なくなるはず。朝夕の渋滞を最たる理由にしてこの道路が必要だという主張は成り立たない。</p>

公述の内容

公述人 1 2	
公述の内容	<p>○道路づくりは不要不急です。山梨県がこのことに、道路づくりに使えるお金があるならば、本当に災害復興に、支援に使っていただきたいと思っています。</p> <p>○トンネルの掘削により、温泉の枯渇、土石流が発生するのではないか。</p> <p>○もしも、住民生活に困難な事態が生じた場合の責任はどうなるのか。</p>

## 公述の内容

公述人13	
公述の内容	<p>○健康の杜、千代田湖の下にトンネルが掘られるが、排気ガスによって鳥たちはどうなるか。</p> <p>○掘削された土が、ダンプカーによって運び出されますが、交通事故が心配。</p> <p>○人口は減り、それから子どもたちは私たちを支えてくれる、老人を支えてくれる子どもたちは、どんどん少なくなっていくのに、その子どもたちにこのお金を負担させていいのか。</p>

公述の内容

公述人14	
公述の内容	<p>○私どもはこの新山梨環状道路を、西関東道路と同時に開通させてもらって、桜井町、横根町の渋滞を緩和してもらいたいと、こうって提案して来ましたが、10数年経ってまいりました。非常に困っております。</p> <p>○高架方式でお願いしたい。インター方式、またはそれにスムーズなアクセスができるようなことを考えてもらえれば、私ども地域は絶対反対ということはない。</p>

## 公述の内容

公述人 15	
公述の内容	<p>○トンネル掘削によるさまざまな悪影響が、全国各地で現れている。地下水脈が破壊され、生活用水や、生態系の変動などが、指摘されている。</p> <p>○北部区間でも古府中や下積翠寺の、井戸の枯渇や棚田の変動、湯村温泉への影響なども免れない。</p> <p>○トンネルの掘削による廃土はどうするのか。</p> <p>○何のために、この都市計画原案をつくることになったのか。最初は確か山の手通りの渋滞解消というように言われていたが、いつの間にか国道20号線の渋滞解消になった。</p> <p>○また、根拠になるデータも、まったく示されていない。</p> <p>○トンネルのため建設経費は膨大なものになっていくと予想される。当初見込まれている1,150億円ではまったく済まないと思う。今、国も地方自治体も財政難で、理由に福祉や人々の暮らしが後退している中で、計画の正当性も、将来の見通しも不明確な道路の必要性は認められない。</p> <p>○東日本の災害復旧に、国も県も財政をまわすべき。</p>

公述の内容

公述人 16	
公述の内容	<p>○地下水脈がどうなるか分からない。廃土による2次的被害も大きな問題になるだろうと思う。</p> <p>○費用対効果の見直しが必要だし、最近、実際生活道路ができて、渋滞が減ってきているというのは事実。</p> <p>○今さらこの北道路を造る必要はない。町の活性化のために放射状の生活道路が非常に大切だと思う。</p> <p>○これから人口が減って、高齢化社会には道路は要らないと思う。</p> <p>○費用を高齢化社会や福祉に有効利用すべき。</p>

公述の内容

公述人 18	
公述の内容	<ul style="list-style-type: none"><li>○新たにものを作る時代ではなく、いかに無駄、無用、有害なものをそぎ落とすことができるのか、堅実な価値観に基づく仕分けの時代だと思う。</li><li>○人も車も減少をしていくというのに、莫大な道路建設の借金を、未来の世代に残してまで、この道路は必要ない。</li><li>○かけがえのない自然環境や、貴重な生態系、それから歴史的景観の破壊は避けられない。</li><li>○莫大な税金を災害復興のために、使っていただきたい。</li><li>○道路の渋滞については、生活道路の整備として放射状の道路の整備が大切。</li><li>○渋滞解消には、本当に市民が便利に使える公共交通の整備が重要。</li></ul>

## 公述の内容

公述人 19	
公述の内容	<ul style="list-style-type: none"><li>○自動車の数や運転者の減少に対応する政策が求められていると思う。</li><li>○国や県の抱えている膨大な負債を考慮すると、生活道路の整備、充実であるとか、メンテナンスであるとか、あるいは現状維持という方向性が見えてくる。</li><li>○新たな需要の少ない環状道路を建設するという事は、需要供給の観点からも、考え直さなければならないと思う。</li><li>○生活道路の充実をすべき。</li></ul>

公述の内容

公述人 20	
公述の内容	<p>○1, 150億、あるいは1, 200億とも言われている税金を、東日本大震災の復興へまわしてもらうように、強く望む。</p> <p>○車椅子の方、自転車の方、そういうものを使う人がゆっくり動けるような交通体系、公共交通ももっと充実させてほしい。</p> <p>○山梨の宝は自然であり、切ったり、貼ったり、削ったりするのは絶対にやめてほしい。</p>